

造影剤の使用についての説明および同意書

年 月 日

説明医師 科

1. 造影剤の使用目的

今回実施する検査（ ）では、造影剤を注射します。造影剤を使用することにより、新たな病変が明確になり、病変の性質についてのより詳しい情報を得ることができます。

2. 副作用の症状と対応

他の多くの薬剤と同様に、造影剤投与により副作用のおこる可能性があります。

ヨード系造影剤：軽い副作用（～4.0%）吐き気、嘔吐、かゆみ、じんましんなど。

重い副作用（～0.04%）咽頭浮腫（むくみ）、血圧低下、呼吸困難など。

MR I用造影剤：軽い副作用（～3.0%）頭痛、吐き気、嘔吐、じんましんなど。

重い副作用（～0.01%）血圧低下、呼吸困難など。

*非常に稀ですが、過去に死亡例の報告もあります（ヨード系造影剤の場合、約40万人に一人、MRI用造影剤の場合、約80万人に一人）

なお、気管支喘息のある方や薬剤アレルギーのある方（特に過去に造影剤の使用で気分が悪くなったり、じんましんなどがでた方）腎機能障害がある方は、必ず検査前に主治医に申し出てください。

また、稀に検査終了後数時間～数日後にじんましん、吐き気、めまい等の症状があらわれる事もありますので、その場合にはすぐに病院へ連絡してください。【連絡先：奥州市総合水沢病院 TEL 0197-25-3833】

検査室において造影剤を注射するときには、

- 1) 注入直後、一時的に体が熱くなる事がありますが、直接の刺激であり心配ありません。
- 2) 血管外に造影剤が漏れると注射部位がはれて、痛みをとまなうこともあります。

当院では、万一の副作用に対して万全の体制を整えて検査を行っています。上記症状が現れた場合はすぐにお知らせ下さい。副作用に対しては迅速かつ適切に対応します。

精度の高い検査を行うために造影剤の使用をお勧めしますが、100%安全な検査ではないことをご理解下さい。なお、検査の精度は低下しますが、造影剤を使用しないで検査することも可能です。

同 意 書

奥州市総合水沢病院 院長 殿

このたび、私が貴院において、上記検査を受けるにあたり、担当医からその内容について十分な説明を受け、診療上必要であることを理解しましたので、その実施に同意します。

なお、実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることについても同意します。

年 月 日

同意者 本人氏名（署名）

家族などの氏名（署名）

（患者との関係）